

大 宮 中 学 校

本と人を暖かくつなぐ場所

今の学校図書館

本校の学校図書館は窓が二方向にあり、窓越しには木が見えて緑が身近に感じられ明るく落ち着いた図書館である。昼休みや放課後は図書の貸出以外にも、自主学習や教室以外の憩いの場所として利用されている。また各教科の授業への利用や総合的な学習の時間などの資料を支援している。

学校図書館の運営

- ・図書館長(校長)のもと、読書教育充実委員会が設置されている。図書館担当教諭(国語科)及び各学年より委員が選出されている
- ・学校図書館教育全体計画の作成
- ・読書センターとして、朝読書の時間を通して読書習慣を定着させるために読書用図書を図書委員会と共に提供している。学校図書館だよりによる広報、図書委員会の活動の中で、読書への動機づけとなる活動を行っている。
- ・学習センターとして授業利用に適切な資料・情報を活用できるよう蔵書構成を考えた選書を重視。
- ・情報センターとしての充実を図り、調べ方やまとめ方のプロセスを学ぶことができる環境を整える。
- ・著作権や情報リテラシー教育の推進

1年間の主な活動

- ・新入生への学校図書館オリエンテーション
- ・授業での資料・情報提供、レファレンス、読み聞かせ
- ・学級文庫提供
- ・図書委員会活動(読書イベントの企画・運営、昼休みの貸出返却担当、図書委員会新聞の発行)
- ・季節や行事、授業関連、社会情勢等に対応した展示
- ・書評座談会への参加
- ・図書館だよりの発行

特色ある取組

○朝読書への取り組み

今年度よりZERO校時の朝学習のローテーションの一つとして朝読書が組み込まれている。

○活発な委員会活動

図書館利用促進のため季節を意識したイベントを企画・実施している。生徒朝会ではスライドによる本の紹介や広報活動を行う。図書委員会新聞「パピルス」の発行。イベントでは読み聞かせなどを行い読書の楽しさを発信している。



七夕 イベント
好きな本の表紙絵投票



秋のハロウィン出張図書館

○全校ビブリオバトル 開催の支援

○本の帯展覧会開催
美術部の「すぎなみ本の帯アイデア賞」出品作品を図書館内に展示



○多様な特性に寄り添う
バリアフリー図書「りんごの棚」にLLブック、青い鳥文庫、大活字本などの設置



○Seibi Roomに図書館分室として図書の設置

これからの学校図書館

- ・生徒自身が主体的に学ぶ楽しさを体感でき、また発展的な学びができるような環境を支援していく。
- ・読書習慣の形成によって学び続けることの楽しさ、意味を感じられる活動を支援する。
- ・各教科と連携した授業支援の充実。
- ・居心地の良い図書館の雰囲気づくりを心がける。